

めざせ！快適で安楽な生活

ポジショニングがもたらす効果

ポジショニングとは・・・

『目的に適した姿勢(体位)を

安全で快適に保持すること』

褥瘡

維持

リラックス

呼吸

拘縮

対象者様の紹介

●Y様 女性 87歳 要介護度4

●既往歴

脳梗塞、高血圧症、認知症

●麻痺・拘縮

右不全麻痺

抱える問題と目標



① 傾きの軽減

食事、水分摂取の際に大変そう・・・

アームレストへの圧迫により、内出血や褥瘡の可能性も...

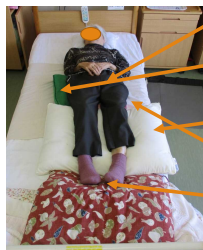
傾眠時、転落の可能性も・・・!!

② 下肢筋力の維持

トイレや車いすへの移乗が大変になってきた・・・

膝関節のみで立位がとれるため、機能を維持していきたい・・・

第1回目 実際に入れてみた～臥床時～



① 仙骨部がマットに対し真っ直ぐに圧がかかるように

② 骨盤の高さを平行にするため右腰部下にナーゼンを浅く入れる

③ 両下腿の下に白の枕を入れる

④ 両大腿の下にバスタオルをたたんで入れる

⑤ 足の裏を支えるように座布団を置く

※両手は自由で良い

第1回目 実際に入れてみた～座位～



① しっかりと奥まで深く座る

② U字クッションの端はアームレストにしまう

③ 両肘はなるべく身体のほうへ引く

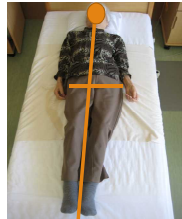
④ クッション内部(右側)にたたんだフェイスタオルを入れる

変化と評価

H28.8.23



H28.10.26



第2回目 実際に入れてみた～座位～



★前回からの追加点

- ① 座面のたるみを解消するため、フェイスタオルをクッションの下(全体的)に入れる
 - ② 両膝関節同士が触れないように、フェイスタオルを丸め、クッションの下(内腿間)に入れる
- ※座面がアーチ状になるように

結果

実施前



実施後



今後の課題



気づきと学び

ポジショニングを行ってみて...

- 軽介助のみで移乗することができた！
- 声のかけ方を工夫することでオーダーがすんなりと入ることが増えた！
- 関わりが増えることで笑顔が増えた！

まとめ

